



## スイッチ

- [スイッチ \(1 ページ\)](#)
- [スイッチの概要 \(10 ページ\)](#)

## スイッチ

次の表で、[スイッチ (Switches) ] ウィンドウに表示されるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
スイッチ名	スイッチの名前を指定します。
[IPアドレス (IP Address) ]	スイッチの IP アドレスを指定します。
Fabric Name (ファブリック名)	スイッチに関連付けられているファブリック名を指定します。
ステータス	スイッチのステータスを指定します。
ヘルス (Health)	スイッチの正常性ステータスを指定します。正常性ステータスは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 正常</li><li>• 深刻</li><li>• 警告</li><li>• OK</li></ul>
Ports	スイッチのポートの合計数を指定します。
使用済みポート	スイッチで使用されるポートの合計数を指定します。
モデル	スイッチ モデルを指定します。
シリアル番号 (Serial Number)	スイッチのシリアル番号を指定します。

フィールド	説明
リリース	スイッチのリリース番号を指定します。
稼働時間	スイッチアップ時間の詳細を指定します。

次の表に、[アクション (Actions)] メニューのドロップダウンリストで、[LAN] > [スイッチ (Switch)] > [スイッチ (Switch)] に表示されるアクションメニューを示します。

アクション項目	説明
Device Manager	必要なスイッチのデバイスマネージャにログインできます。 <a href="#">[デバイスマネージャ (Device Manager)]</a> ログインウィンドウが表示され、ログイン情報を入力してログインします。  Cisco MDS 9000 Device Manager の説明と使用方法については、 <a href="#">デバイスマネージャのヘルプ</a> を参照してください。
テクニカル サポート	ログの収集を開始できます。詳細については、 <a href="#">テクニカル サポート (2 ページ)</a> を参照してください。
CLI の実行	複数のスイッチで複数の CLI コマンドを実行し、各スイッチの出力を zip 形式のテキストファイルとして収集できます。詳細については、 <a href="#">CLI の実行 (3 ページ)</a> を参照してください。

## Device Manager

[デバイスマネージャ](#) をクリックして Cisco MDS 9000 Device Manager の説明と使用方法を表示してください。



(注) [\[スイッチの概要 \(Switch Overview\)\]](#) 画面で別のタブに移動すると、Device Manager セッションが終了します。

## テクニカル サポート

[アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[テクニカルサポート (Tech Support)] を選択してログ収集を開始します。ウィンドウが表示されます。

- [セッションタイムアウト (Session timeout)] フィールドに時間を分単位で入力します。デフォルトの時間は 20 分です。
- [コマンド (Command)] テキストフィールドにコマンドを入力し、[実行 (Run)] をクリックします。

- [データが正常に送信され、テクニカルサポートが開始されました (Data submitted successfully, tech support starting) ] という確認ウィンドウが表示され、[確認 (Confirm) ] をクリックしてステータスが [完了 (Completed) ] に変わります。
- レポートをダウンロードするには、[テクニカルサポートのダウンロード (Download Tech Support) ] をクリックします。

## CLI の実行

リリース 12.0.2f 以降、Cisco NDFC SAN コントローラを使用すると、スイッチで CLI コマンドを実行できます。各スイッチの .zip ファイル内の CLI コマンドからの出力を収集できます。

スイッチで CLI コマンドを実行するには、次の手順を実行します。

1. Cisco NDFC UI で、[SAN] > [スイッチ (Switches) ] > [スイッチ (Switches) ] を選択します。
2. CLI コマンドを実行するスイッチを選択します。  
複数のスイッチを選択して、一連の CLI コマンドを同時に実行できます。
3. [アクション (Actions) ] ドロップダウンリストから、[CLI の実行 (Execute CLI) ] を選択します。  
[スイッチ CLI の実行 (Execute Switch CLI) ] 画面が表示されます。
4. [設定 (Configure) ] タブで、[選択されたスイッチ (Selected Switches) ] の下のハイパーリンクをクリックして、CLI が実行される選択されたスイッチを表示します。
5. [CLI コマンド (CLI Commands) ] テキストボックスに、スイッチで実行する CLI コマンドを入力します。  
1 行に 1 つのコマンドを入力するようにしてください。
6. [実行 (Execute) ] をクリックします。  
成功 (Success) 確認メッセージが表示されます。
7. [実行 (Execute) ] タブで、テーブルには、スイッチ、関連するファブリック、および CLI の実行ステータスが表示されます。
8. [出力のダウンロード (Download output) ] をクリックして、コマンド出力をダウンロードします。



---

(注) CLI 経由でスイッチに到達できない場合、zip ファイルの出力にエラーが表示されます。

---

## 拡張されたロールベースのアクセス制御

SAN コントローラリリース 12.0.1(a) からは、すべての RBAC が Nexus ダッシュボードにあります。ユーザーロールとアクセスは、NDFC 上のファブリックの Nexus ダッシュボードから定義されます。

Nexus ダッシュボードの管理者ロールは、NDFC のネットワーク管理者ロールと見なされます。

DCNM には、さまざまなアクセスと操作を実行するための 5 つのロールがありました。ユーザーがアクセスする場合、ネットワークステージロールを持つファブリックは、ネットワークステージロールとして他のすべてのファブリックにアクセスできます。したがって、ユーザー名は DCNM でのロールによって制限されます。

Cisco NDFC リリース 12.0.1(a) には同じ 5 つのロールがありますが、Nexus ダッシュボードの統合により詳細な RBAC を実行できます。ユーザーがネットワークステージロールとしてファブリックにアクセスする場合、同じユーザーは、管理者またはオペレーターロールなどの他のユーザーロールを使用して別のファブリックにアクセスできます。したがって、ユーザーは NDFC のさまざまなファブリックでさまざまなアクセス権を持つことができます。

NDFC RBAC は、次のロールをサポートします。

- NDFC アクセス管理者
- NDFC デバイス アップグレード管理者
- NDFC ネットワーク管理者
- NDFC ネットワーク オペレータ
- NDFC ネットワーク ステージャ

次の表では、NDFC でのユーザーロールとその権限について説明します。

ロール	権限
NDFC アクセス管理者	読み取り/書き込み 参照先
NDFC デバイス アップグレード管理者	読み取り/書き込み
NDFC ネットワーク管理者	読み取り/書き込み
NDFC ネットワーク オペレータ	読み取り
NDFC ネットワーク ステージャ	読み取り/書き込み

DCNM では、下位互換性のために次のロールがサポートされています。

- SAN 管理者 (ネットワーク管理者にマッピング)
- グローバル管理者 (ネットワーク管理者にマッピング)
- SAN ネットワーク管理者 (ネットワーク管理者にマッピング)

- サーバー管理者（ネットワーク管理者にマッピング）



(注) どのウィンドウでも、ログインしているユーザーロールで実行できないアクションはグレー表示されます。

#### **NDFC ネットワーク管理者**

**NDFC ネットワーク管理者**ロールを持つユーザは、SAN コントローラですべての操作を実行できます。

**NDFC ネットワーク管理者**ロールを持つユーザーは、SAN コントローラの特定のファブリックまたはすべてのファブリックをフリーズできます。

#### **NDFC デバイス アップグレード管理者**

**NDFC デバイス アップグレード管理者**ロールを持つユーザは、[**イメージ管理 (Image Management)**]ウィンドウでのみ操作を実行できます。

詳細については、「[イメージ管理](#)」の項を参照してください。

#### **NDFC アクセス管理者**

**NDFC アクセス管理者**ロールを持つユーザは、すべてのファブリックの[**インターフェイス マネージャ (Interface Manager)**]ウィンドウでのみ操作を実行できます。

NDFC アクセス管理者は、次のアクションを実行できます。

- レイヤ 2 ポート チャネル、および vPC を追加、編集、削除、展開します。
- ホスト vPC、およびイーサネット インターフェイスを編集します。
- 管理インターフェイスからの保存、プレビュー、および展開。
- LAN クラシックのインターフェイス、およびポリシーに関連付けられていない場合は外部ファブリックを編集します。

nve、管理、トンネル、サブインターフェイス、SVI、インターフェイス グループ、およびループバック インターフェイスを除く

ただし、SAN コントローラ アクセス ロールを持つユーザは、次のアクションを実行できません。

- レイヤ 3 ポートチャネル、ST FEX、AA FEX、ループバック インターフェイス、nve インターフェイス、およびサブインターフェイスは編集できません。
- レイヤ 3、ST FEX、AA FEX のメンバー インターフェイスおよびポート チャネルは編集できません。
- アンダーレイとリンクから関連付けられたポリシーを持つインターフェイスは編集できません。

- ピアリンク ポート チャンネルを編集できません。
- 管理インターフェイスを編集できません。
- トンネルを編集できません。



(注) ファブリックまたは SAN コントローラが展開フリーズモードの場合、このロールのアイコンとボタンはグレー表示されます。

### NDFC ネットワーク ステージャ

**NDFC ネットワーク ステージャ** ロールを持つユーザは、SAN コントローラで設定を変更できます。**NDFC ネットワーク管理者** ロールを持つユーザは、これらの変更を後で展開できます。ネットワーク ステージャは、次のアクションを実行できます。

- インターフェイス構成の編集
- ポリシーの表示または編集
- インターフェイスの作成
- ファブリック設定の変更
- テンプレートの編集または作成

ただし、ネットワーク ステージャは次のアクションを実行できません。

- スイッチに設定を展開できません。
- SAN コントローラ Web UI または REST API から展開関連のアクションを実行できません。
- ライセンス、追加ユーザの作成などの管理オプションにアクセスできません。
- メンテナンス モードの切り替えはできません。
- 展開フリーズモードでファブリックを移動したり、展開モードから解放したりすることはできません。
- パッチをインストールします。
- スイッチをアップグレードできません。
- ファブリックを作成または削除できません。
- スイッチをインポートまたは削除できません。

### NDFC ネットワーク オペレータ

ネットワーク オペレータは、ファブリックビルダー、ファブリック設定、構成のプレビュー、ポリシー、およびテンプレートを表示できます。ただし、ネットワーク オペレータは次の操作を実行できません。

- ファブリック内のスイッチの予期される構成を変更できません。
- スイッチに構成を展開できません。
- ライセンス、追加ユーザの作成などの管理オプションにアクセスできません。

ネットワーク オペレータとネットワーク ステージャの違いは、ネットワーク ステージャとして、既存のファブリックのインテントのみを定義できますが、それらの設定を展開できないことです。

ネットワーク ステージャロールを持つユーザがステージングした変更および編集を展開できるのは、ネットワーク管理者だけです。

### デフォルトの認証ドメインの選択

Nexus ダッシュボードのデフォルトのログイン画面では、認証用のローカルドメインが選択されます。ドロップダウンリストから利用可能なドメインを選択することで、ログイン時にドメインを変更できます。

Nexus ダッシュボードは、ローカルおよびリモート認証をサポートしています。Nexus ダッシュボードのリモート認証プロバイダーには、RADIUS と TACACS が含まれます。認証のサポートの詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/dcn/nd/2x/user-guide/cisco-nexus-dashboard-user-guide-211.pdf>を参照してください。

次の表に、DCNM アクセスと NDFC アクセス間の RBAC の比較を示します。

DCNM 11.x	NDFC 12.x
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザーのロールは1つです。</li> <li>• すべての API とリソースは、この1つのロールでアクセスされます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザーは、セキュリティドメインの Nexus ダッシュボードごとに異なるロールを持つことができます。</li> <li>• セキュリティドメインには単一の Nexus ダッシュボードが含まれ、各 Nexus ダッシュボードには単一の NDFC ファブリックが含まれます。</li> </ul>
DCNM のオプションへのアクセスを無効化または制限することにより、単一のロールがユーザーに関連付けられます。	単一のロールでは、選択したページに特権リソースのみが表示され、NDFC のその他のオプションでは、選択したリソースに関連付けられたセキュリティドメインに基づいて、制限されたアクセスがグレー表示されます。
シェル、ロール、およびオプションのアクセス制約を含む DCNM AV ペア形式。	シェル、ドメインを含む Nexus ダッシュボード AV ペアフォーマット。

DCNM 11.x	NDFC 12.x
展開タイプ LAN、SAN、または PMN に基づいてサポートされるロール。	network-admin、network-operator、device-upg-admin、network-stager、access-admin などのサポートされているロールは NDFC にあります。  下位互換性のためのレガシーロールのサポート。DCNM のネットワーク管理者としての Nexus ダッシュボード管理ロール。

次の表では、DCNM 11.x AV ペアの形式について説明します。

Cisco DCNM Role	RADIUS Cisco-AV-Pair の値	TACACS+ シェル Cisco-AV-Pair ペアの値
network-operator	shell:roles = "network-operator" dcnm-access="group1 group2 group5"	cisco-av-pair=shell:roles="network-operator" dcnm-access="group1 group2 group5"
Network-Admin	shell:roles = "network-admin" dcnm-access="group1 group2 group5"	cisco-av-pair=shell:roles="network-admin" dcnm-access="group1 group2 group5"

次の表では、NDFC 12.x AV ペアの形式について説明します。

ユーザー ロール	AVPair 値
NDFC アクセス管理者	アクセス管理者
NDFC デバイス アップグレード管理者	Device-upg-admin
NDFC ネットワーク管理者	network-admin
NDFC ネットワーク オペレータ	network-operator
NDFC ネットワーク ステージャ	Network-stager

AV ペア文字列の形式は、特定のユーザーに対して読み取り/書き込みロールを設定するか、読み取り専用ロールを設定するか、または読み取り/書き込みロールと読み取り専用ロールの組み合わせを設定するかによって異なります。通常の文字列にはドメインが含まれており、その後にはスラッシュ (/) で区切って読み取り専用ロールからは切り離された読み取り/書き込みロールが続きます。個々のロールはパイプ (|) で区切られています。

```
shell:domains=<domain>/<writeRole1>|<writeRole2>/<readRole1>|<readRole2>
```

## Nexus Dashboard のセキュリティ ドメイン

ユーザログインに関するアクセス制御情報には、ユーザ ID、パスワードなどの認証データが含まれます。認証データに基づいて、リソースに適宜アクセスできます。Nexus ダッシュボードの管理者は、セキュリティドメインを作成し、さまざまなリソースタイプ、リソースイン



スタンスをグループ化し、それらをセキュリティドメインにマッピングできます。管理者は各ユーザの AV ペアを定義します。これにより、Nexus ダッシュボードのさまざまなリソースに対するユーザのアクセス権限が定義されます。ファブリックを作成すると、Nexus ダッシュボードに同じファブリック名でサイトが作成されます。これらのサイトは、**[Nexus ダッシュボード (Nexus Dashboard)] > [サイト (Sites)]** で作成および表示できます。

SAN コントローラ REST API は、この情報を使用して、認可を確認することによってアクションを実行します。

SAN コントローラリリース 11.x からアップグレードすると、各ファブリックは同じ名前の自動生成サイトにマッピングされます。これらすべてのサイトは、Nexus ダッシュボードのすべてのセキュリティドメインにマッピングされます。

すべてのリソースは、他のドメインに割り当てられたりマッピングされたりする前に、すべてのドメインに配置されます。すべてのセキュリティドメインには、Nexus ダッシュボードで使用可能なすべてのセキュリティドメインは含まれません。

### AV ペア

セキュリティドメインのグループと各ドメインの読み取りおよび書き込みロールは、AV ペアを使用して指定されます。管理者は、各ユーザの AV ペアを定義します。AV ペアは、Nexus ダッシュボードのさまざまなリソースに対するユーザのアクセス権限を定義します。

AV ペアの形式は次のとおりです。

```
"avpair": "shell:domains = security-domain / write-role-1 | write-role-2, security-domain / write-role-1 | write-role2 / read-role-1 | read-role-2 "
```

例: "avpair":

```
"shell:domains=all/network-admin/app-user|network-operator" 「all/admin/」はユーザをスーパーユーザにするため、all/admin/ を使用した例を避けるのが最善です。
```

write ロールには read ロールも含まれます。したがって、all/network-admin/ と all/network-admin/network-admin は同じです。



- (注) SAN コントローラ リリース 12.0.1a から、SAN コントローラリリース11.x で作成した既存の AV ペア形式がサポートされます。ただし、新しい AV ペアを作成する場合は、上記の形式を使用します。shell:domains にスペースが含まれていないことを確認します。

### AAA サーバ上での Cisco NX-OS のユーザ ロールおよび SNMPv3 パラメータの指定

AAA サーバ上で VSA cisco-AV-pair を使用して、次の形式で Cisco NX-OS デバイスのユーザーロールマッピングを指定できます。

```
shell:roles="roleA roleB ..."
```

cisco-AV-pair 属性にロールオプションを指定しなかった場合のデフォルトのユーザーロールは、network-operator です。

次のように SNMPv3 認証とプライバシー プロトコル属性を指定することもできます。

```
shell:roles="roleA roleB..." snmpv3:auth=SHA priv=AES-128
```

SNMPv3 認証プロトコルに指定できるオプションは、SHA と MD5 です。プライバシープロトコルに指定できるオプションは、AES-128 と DES です。cisco-AV-pair 属性にこれらのオプションを指定しなかった場合のデフォルトの認証プロトコルは、MD5 と DES です。

### セキュリティ ドメインの作成

Cisco Nexus Dashboard からセキュリティ ドメインを作成するには、次の手順を実行します。

1. Cisco Nexus Dashboard にログインします。
2. [管理 (Administrative)] > [セキュリティ (Security)] の順に選択します。
3. [セキュリティ ドメイン (Security Domain)] タブに移動する
4. [セキュリティ ドメインの作成 (Create Security Domain)] をクリックします。
5. 必要な詳細を入力し、[作成 (Create)] をクリックします。

### ユーザの作成

Cisco Nexus Dashboard からユーザを作成するには、次の手順を実行します。

1. Cisco Nexus Dashboard にログインします。
2. [管理 (Administrative)] > [ユーザー (Users)] の順に選択します。
3. [ローカル ユーザーの作成 (Create Local User)] をクリックします。
4. 必要な詳細を入力し、[セキュリティ ドメインの追加 (Add Security Domain)] をクリックします。
5. ドロップダウンリストからドメインを選択します。
6. 適切なチェックボックスをオンにして、SAN コントローラ サービスの読み取りまたは書き込みロールを割り当てます。
7. [保存 (Save)] をクリックします。

## スイッチの概要

UI パス : [SAN] > [スイッチ] > [スイッチの概要]

[スイッチの概要 (Switch Overview)] メニューには、次のサブメニューがあります。

## スイッチの概要の表示

[スイッチの概要 (Switch Overview)] タブでは、スイッチの概要とともにスイッチに関する情報を表示できます。[SAN] > [スイッチ (Switches)] を移動し、必要なスイッチをクリックしま

す。スライドイン ペインが表示されます。[起動 (Launch)] アイコンをクリックして、[スイッチの概要 (Switch Overview)] ウィンドウを表示します。

[概要 (Summary)] タブに表示されるデフォルトのカードは次のとおりです。

カード	説明
スイッチ情報	名前、正常性ステータス、IP アドレス、モデル、バージョン、その他のスイッチ情報など、スイッチの詳細を表示します。
イベント分析	重大、メジャー、マイナー、および警告の重大度を持つイベントを表示します。詳細については、このカードで [起動 (Launch)] アイコンをクリックして [イベント (events)] タブに移動します。
関連資料	スイッチのリソース使用率をグラフ形式で表示します。
モジュール	モジュールが検出されたスイッチ、モデル名、カウントを表示します。
インターフェイス	スイッチインターフェイスに関する要約情報を表示します。
ポートの使用	ポートインベントリに関する要約情報を表示します。

## モジュール

SAN コントローラ Web UI からモジュールのインベントリ情報を表示するには、次の手順を実行します。

### Procedure

**ステップ 1** [SAN]、[スイッチ (Switch)]、[スイッチの概要 (Switch Overview)]、[モジュール (Modules)] の順に選択します。同様に、ファブリックの概要ウィンドウで、[SAN] > [ファブリック (Fabric)] > [ファブリックの概要 (Fabric Overview)] > [Modules] の順に表示できます。

[モジュール (Modules)] タブに、選択した範囲のすべてのスイッチとその詳細のリストが表示されます。

テーブルに必要な情報を表示し、[属性によるフィルタ (Filter by Attributes)] に詳細を入力できます。

**ステップ 2** 次の情報が表示されます。

- [名前 (Name) ]にはモジュール名が表示されます。
- [モデル (Model) ]にモデル名が表示されます。
- [シリアル番号 (Serial Number) ]列には、シリアル番号が表示されます。
- [タイプ (Type) ]列には、モジュールのタイプが表示されます。
- Oper. Status 列には、デバイスの動作状態が表示されます。
- [スロット (Slot) ]列には、スロット番号が表示されます。
- [ハードウェアリビジョン (HW Revision) ]列には、モジュールのハードウェアバージョンが表示されます。
- [ソフトウェアリビジョン (Software Revision) ]列には、モジュールのソフトウェアバージョンが表示されます。
- [アセット ID (Asset ID) ]カラムには、モジュールのアセット ID が表示されます。

## インターフェイスの表示

UI Path: SAN > スイッチ > スイッチの概要 > インターフェイス

同様に、ファブリック概要ウィンドウでインターフェイスを表示できます。

SAN > ファブリック > ファブリックの概要 > インターフェイス

次の表では、[インターフェイス (Interfaces) ]タブに表示されるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
名前	インターフェイス名を指定します。
Admin. ステータス	インターフェイスの管理ステータスを指定します。
Oper. ステータス	インターフェイスの動作ステータスを指定します。
理由	失敗の理由を指定します。
スピード	Gb でインターフェイスの速度を指定します。
モード	インターフェイスのモードを指定します。
スイッチ	スイッチの名前を示します。
VSAN	接続された VSAN の名前を指定します。
接続先	接続の詳細を指定します。
接続先のタイプ	接続のタイプを指定します。

フィールド	説明
説明	インターフェイスの詳細を指定します。
オーナー	ポートの所有者を指定します。
[ポートグループ (Port Group) ]	インターフェイスが接続されているポートグループ番号を指定します。

インベントリタブでさまざまな操作を実行するには、次の手順に従います。

#### 手順

- ステップ 1** インターフェイスに対してシャットダウンを実行しない場合は、必要なインターフェイスのチェックボックス名を選択し、[アクション (Actions) ]>[シャットダウンな (No Shutdown) ]をクリックします。
- 警告ウィンドウが表示されたら、[確認 (Confirm) ]をクリックします。
- ステップ 2** インターフェイスをシャットダウンするには、必要なインターフェイスのチェックボックス名を選択し、[アクション (Actions) ]>[シャットダウン (Shutdown) ]をクリックします。
- 警告ウィンドウが表示されたら、[確認 (Confirm) ]をクリックします。
- ステップ 3** インターフェイスのポート所有者を割り当てるには、必要なインターフェイスのチェックボックス名を選択し、[アクション (Actions) ]>[所有者 (Owner) ]をクリックします。
- ステップ 4** [ポート所有者の設定 (Set Port Owner) ]ウィンドウが表示され、必要な名前を入力して[適用 (Apply) ]をクリックします。
- ステップ 5** インターフェイスの診断をリンクするには、必要なインターフェイスのチェックボックス名を選択し、[アクション (Actions) ]>[リンク診断 (Link Diagnostics) ]をクリックします。

## スイッチライセンスの表示

[ライセンス (Licenses) ]タブで次の情報を表示できます。

- [機能 (Feature) ]列には、選択したスイッチの機能名が表示されます。
- [ステータス (Status) ]列には、ライセンスのステータスが表示されます。ステータスは、[使用中 (In Use) ]または[未使用 (Unused) ]のいずれかになります。
- [タイプ (Type) ]列には、ライセンスのタイプが表示されます。
- [警告 (Warnings) ]列には、ライセンスの猶予期間とその有効期限が表示されます。

[属性別フィルタ処理 (Filter by attribute) ]を使用して、必要な情報を表示できます。

表を更新するには、[更新 (Refresh) ]アイコンをクリックします。

## イベント分析

イベント分析には、次のトピックが含まれます。

- [アラーム](#)
- [イベント](#)
- [アカウントティング](#)

## バックアップの表示

[バックアップ (Backup) ] タブで次の情報を表示できます。

- [スイッチ (Switch) ] 列にはスイッチの名前が表示されます。
- [バックアップ日 (Backup Date) ] 列には、バックアップ日が表示されます。
- [バックアップタグ (Backup Tag) ] 列には、バックアップタグ名が表示されます。
- [バックアップの種類 (Backup Type) ] 列には、バックアップの種類が表示されます。
- [設定ファイル (Configuration File) ] 列には、そのデバイス用にアーカイブされた設定ファイルが表示されます。

[属性別フィルタ処理 (Filter by attribute) ] を使用して、必要な情報を表示できます。

表を更新するには、[更新 (Refresh) ] アイコンをクリックします。

次の表では、このタブで実行できるアクションについて説明します。

アクション	説明
ブートフラッシュにコピー	<a href="#">ブートフラッシュのコピー (15 ページ)</a> を参照してください。
比較	<a href="#">設定ファイルの比較</a> を参照してください。
エクスポート	<a href="#">Export Configuration</a> を参照してください。
タグの編集	スイッチのタグを編集するには。必要なスイッチのチェックボックスをオンにし、[アクション (Actions) ]>[タグの編集 (Edit tag) ]を選択して、[OK] をクリックします。

アクション	説明
ゴールデンとしてマーク	スイッチをゴールデンバックアップとしてマークするには。必要なスイッチのチェックボックスをオンにし、[アクション (Actions)] > [ゴールデンとしてマーク (Mark as golden)] を選択します。確認ウィンドウが表示されます。[確認 (Confirm)] をクリックします。  詳細については、「 <a href="#">ゴールデンバックアップ (Golden backup)</a> 」の項を参照してください。
ゴールデンとして削除	ゴールデンバックアップからスイッチを削除するには。必要なスイッチのチェックボックスをオンにし、[アクション (Actions)] > [ゴールデンとして削除 (Remove as golden)] を選択します。確認ウィンドウが表示されます。[確認 (Confirm)] をクリックします。
Delete	バックアップからスイッチを削除するには。必要なスイッチのチェックボックスをオンにし、[アクション (Actions)] > [削除 (Delete)] を選択します。確認ウィンドウが表示されます。[確認 (Confirm)] をクリックします。

この項の内容は、次のとおりです。

## ブートフラッシュのコピー

設定ファイルは、同じデバイス、別のデバイス、または複数のデバイスに同時にコピーできます。

タスクのステータスを表示するには、次のタスクを実行します。

### 手順

**ステップ 1** SAN コントローラのホームページから、[SAN] > [スイッチ (Switch)] > [スイッチの概要 (Switch Overview)] > [バックアップ (Backup)] を選択します。

**ステップ 2** [ブートフラッシュにコピー (Copy to bootflash)] をクリックします。

[ブートフラッシュにコピー (Copy to bootflash)] ページが表示され、[送信元設定のプレビュー (Source Configuration Preview)] エリアおよび [選択したデバイス (Selected Devices)] エリアが表示されます。

[送信元のプレビュー (Source Preview)] エリアには、デバイスにコピーされた実行/起動/バージョン設定ファイルの内容が表示されます。

**ステップ3** [選択されたデバイス (Selected Devices) ]エリアで、デバイス名のチェックボックスをオンにして、設定をデバイスにコピーします。

(注) 複数の接続先デバイスを選択して、設定をコピーできます。

選択されたデバイスエリアには、次のフィールドが表示されます。

- [デバイス名 (Device Name) ] : 送信元設定のコピー先のターゲットデバイス名を指定します。
- [IP アドレス (IP Address) ] : 接続先デバイスの IP アドレスを指定します。
- [グループ (Groups) ] : デバイスが属しているグループ。
- [ステータス (Status) ] : デバイスのステータスを示します。

**ステップ4** [コピー (Copy) ] をクリックします。

確認ウィンドウが表示されます。

**ステップ5** [はい (Yes) ] をクリックして、設定を接続先デバイス設定にコピーします。

## 設定ファイルの比較

この機能を使用すると、設定ファイルを同じデバイスの別のバージョンまたは別のデバイスの設定ファイルと比較できます。

設定ファイルと比較するには、次のタスクを実行します。

### 手順

**ステップ1** チェックボックスをオンにして、比較する2つの設定ファイルを選択します。

選択した最初のファイルはソースとして指定され、2番目の設定ファイルはターゲットファイルとして指定されます。

**ステップ2** [SAN] > [スイッチ (Switch) ] > [スイッチの概要 (Switch Overview) ] > [比較 (Compare) ] に移動します。

**ステップ3** [設定の比較 (Compare Configuration) ] をクリックします。

[設定の差分の表示 (View Config Diff) ] ページが表示され、2つの設定ファイルの違いが表示されます。

ソースおよびターゲットの設定ファイルの内容は、2つの列に表示されます。右上隅のドロップダウンリストから[すべて (All) ] を選択して、設定全体を表示します。[変更済み (Changed) ] を選択して、設定ファイルの設定の違いを表示することもできます。

設定ファイルの違いは、凡例とともに表に示されています。

- [赤 (Red) ] : 差分設定の詳細。



- 緑：新しく追加された設定の詳細。
- 青：変更された設定の詳細。

**ステップ 4** [ターゲットにコピー (Copy to Target)] をクリックして、送信元設定をターゲット設定ファイルにコピーします。[キャンセル (Cancel)] をクリックして、[設定の詳細 (configuration details)] ページに戻ります。

[設定のコピー (Copy Configuration)] ウィンドウには、送信元設定のプレビューと接続先設定のターゲットデバイスが表示されます。選択されたデバイスエリアには、次のフィールドが表示されます。

- [デバイス名 (Device Name)] : 送信元設定のコピー先のターゲットデバイス名を指定します。
- [IP アドレス (IP Address)] : 接続先デバイスの IP アドレスを指定します。
- [グループ (Groups)] : デバイスが属しているグループ。
- [適切な設定 (Golden Config)] : 接続先設定のバージョンを指定します。
- [ステータス (Status)] : デバイスのステータスを示します。

**ステップ 5** [はい (Yes)] をクリックして、設定を接続先デバイス設定にコピーします。

---

## Export Configuration

SAN コントローラ サーバーから設定ファイルをエクスポートできます。設定ファイルをエクスポートするには、次のタスクを実行します。

### 手順

**ステップ 1** SAN コントローラのホームページから、[設定 (Configure)] > [バックアップ (Backup)] を選択し、エクスポートする設定を選択します。

**ステップ 2** [Export Configuration] をクリックします。

ファイルがローカルシステムにダウンロードされます。サードパーティのファイル転送ツールを使用して、これらのファイルを外部サーバーに転送できます。

---

## ポートの使用の表示

[ポートの使用 (Port Usage)] タブで次の情報を表示できます。

- [ポート速度 (Port Speed)] 列にはポートの速度が表示されます。
- [使用済みポート (Used Ports)] 列には、前述のポート速度の合計ポートが表示されます。

- [使用可能なポート (Available Ports) ] 列には、ポート速度で使用可能なポートが表示されます。
- [ポートの合計 (Total Ports) ] 列には、上記の速度のポートの合計が表示されます。
- [推定残り日数 (Estimated Day Left) ] 列には、ポートの推定残り日数が表示されます。

[属性別フィルタ処理 (Filter by attribute) ] を使用して、必要な情報を表示できます。

表を更新するには、[更新 (Refresh) ] アイコンをクリックします。

[使用済みポート (Used ports) ] には、選択したスイッチの使用済みポートの合計が表示されます。[ポートの合計 (Total ports) ] には、選択したスイッチで使用可能なポートの合計が表示されます。

## ブートフラッシュの表示

[ブートフラッシュ (Bootflash) ] タブで次の情報を表示できます。

- [プライマリ ブートフラッシュ サマリ (Primary Bootflash Summary) ] カードには、合計、使用済み、および使用可能な領域が表示されます。
- [セカンダリ ブートフラッシュ サマリ (Secondary Bootflash Summary) ] カードには、合計、使用済み、および使用可能な領域が表示されます。
- [ディレクトリ リスト (Directory List) ] 領域に、プライマリ ブートフラッシュとセカンダリ ブートフラッシュのチェックボックスが表示されます。

この領域には、スイッチのブートフラッシュ上のすべてのファイルとディレクトリのファイル名、サイズ、および最終変更日が表示されます。[アクション (Actions) ] > [削除 (Delete) ] を順に選択してファイルを削除し、スイッチで使用可能なスペースを増やします。

## Device Manager

[デバイスマネージャ](#) をクリックして Cisco MDS 9000 Device Manager の説明と使用方法を表示してください。



- (注) [スイッチの概要 (Switch Overview) ] 画面で別のタブに移動すると、Device Manger セッションが終了します。

## ブレード

UCS スwitchのインターフェイスは、SAN コントローラ Web UI で、[SAN] > [スイッチ (Switches) ] > [スイッチの概要 (Switch Overview) ] から表示できます。



(注) UCS スイッチが SAN コントローラに一覧表示されており、これらのスイッチのステータスが正しいことを確認します。これらのタブは、UCS スイッチについてのみ表示できます。

[ブレード (Blades) ] タブには、UCS FI に接続されているすべてのサーバーブレードの情報が表示されます。

UCS には次の 3 つのタブがあります。

- ブレード
- vNIC
- vHBA

[ブレード (blades) ] タブには、すべてのブレード情報がカードとして表示されます。各ブレードエリアの [詳細 (More Details) ] アイコンをクリックして、選択したブレードのサイドパネルに詳細を表示します。

[すべて折りたたむ (Collapse All) ] または [すべて展開 (Expand All) ] アイコンをクリックして、すべてのブレードエリアをそれぞれ折りたたむか、すべて展開することができます。

[ブレード (Blades) ] タブには、UCS FI に接続されているすべてのサーバーブレードの情報が表示されます。冗長セットアップのプライマリ UCS FI またはスタンドアロン UCS FI のみが表示されます。

#### vNIC

[vNICs] タブには、その UCS FI の vNIC のリストが表示されます。グラフアイコンをクリックすると、vNIC の 24 時間のトラフィックが表示されます。

#### vHBA

[vHBA] タブには、その特定の UCS FI の vHBA のリストが表示されます。グラフアイコンをクリックして、vHBA の 24 時間のトラフィックを表示します。

